

平成 28 年度事業報告

1. 学術集会, 講演会等の開催 (定款第 4 条第 1 号)

(1) 年 会

第 89 回日本薬理学会年会『Voyage beyond the Horizon』

平成 28 年 3 月 9 日 (水) ~11 日 (金), パシフィコ横浜 会議センター (神奈川県横浜市)

年会長: 石井 邦雄 (北里大・薬), 参加者 2,280 名, 総演題数 990 演題

(学術評議員 571 名, 一般会員 443 名, 非会員 279 名, 大学院生 310 名, 学部学生 292 名,

名誉会員・永年会員・招待演者・共催セミナー・展示企業関係者等 385 名)

プレナリーレクチャー 1, 特別講演 9, JPS-ASPET Lecture 1, 受賞講演 4 (江橋節郎賞 1, 学術奨励賞 3),

教育セミナー 20, シンポジウム 224 演題, ワークショップ 16, 一般演題 649 (優秀発表賞候補演題 72, 口演 153,

ポスター424), 若手研究者キャリア支援プログラム 66 (学生セッション)

(2) 地方部会

第 129 回日本薬理学会近畿部会 部会長: 小澤光一郎 (広島大学・院・医歯薬保健)

平成 28 年 6 月 24 日 広島県医師会館 (広島市)

参加者約 180 名, 一般演題 (口演 79)

第 134 回日本薬理学会関東部会 部会長: 武田 弘志 (国際医療福祉大学・薬)

平成 28 年 7 月 9 日 国際医療福祉大学 (栃木県大田原市)

参加者約 210 名, シンポジウム 4, 一般演題 (口演 42, ポスター25)

第 67 回日本薬理学会北部会 部会長: 三輪 聡一 (北海道大学・院・医)

平成 28 年 9 月 30 日 北海道大学学術交流会館 (札幌市)

参加者約 130 名, 一般演題 (口演 59)

第 135 回日本薬理学会関東部会 部会長: 梅村 和夫 (浜松医科大学・医)

平成 28 年 10 月 8 日 アクトシティ浜松 (静岡県浜松市)

参加者約 160 名, シンポジウム 5, 一般演題 (口演 36, ポスター16)

第 130 回日本薬理学会近畿部会 部会長: 金子 周司 (京都大学・院・薬)

平成 28 年 11 月 19 日 京都大学百周年時計台記念館 (京都市)

参加者 322 名, 一般演題 (口演 62, ポスター23)

第 69 回日本薬理学会西南部会 部会長: 荒木 博陽 (愛媛大学病院・薬剤部)

平成 28 年 11 月 26 日 松山大学 (愛媛県松山市)

参加者約 190 名, 特別講演 1, ランチョンセミナー1, 一般演題 (口演 48, ポスター16)

(3) セミナー等の開催 (年會会期分を除く)

・新薬理学セミナー2016 平成 28 年 7 月 9 日, 国際医療福祉大学 (栃木県大田原市), 参加者 79 名
『プロバイオティクスが拓く新たな創薬研究』世話人: 武田 弘志 (国際医療福祉大学・薬)

・新薬理学セミナー2016 平成 28 年 11 月 19 日, 京都大学百周年時計台記念館 (京都市), 参加者 約 120 名
『iPS 細胞と創薬』世話人: 金子 周司 (京都大学・院・薬)

・公開講座 (第 89 回年会) 平成 28 年 3 月 12 日, 北里大学薬学部コンベンションホール (東京都港区), 参加者 134 名
『薬の過去・現在・未来—その役割の変遷—』責任者: 石井 邦雄 (北里大学・薬)

・公開講座 (近畿部会) 平成 28 年 6 月 24 日, 広島県医師会館 (広島市), 参加者: 約 90 名
『ここまでわかったうつ病—脳科学を応用した最先端治療への挑戦—』
責任者: 小澤光一郎 (広島大学・院・医歯薬保健)

・公開講座 (西南部会) 平成 28 年 10 月 2 日, 松山大学 9 号館 (愛媛県松山市), 参加者: 約 120 名
『第 14 回薬剤師会お薬セミナー』 (一社)愛媛県薬剤師会と共催 責任者: 荒木 博陽 (愛媛大学病院・薬剤部)
① 「大丈夫ですか? あなたの目 これだけは知っておきたい! 目の危険な症状」
② 「命をつなぐ造血幹細胞移植医療—今、私たちができること—」

(4) 他学会等との共催学術集会の開催

- ・日本薬理学会・日本医学会連合共催シンポジウム
第 89 回日本薬理学会年会時 平成 28 年 3 月 9 日, パシフィコ横浜・会議センター(神奈川県横浜市)
『免疫薬理－免疫疾患への革新的な治療法開発と薬理学の新たな役割』
オーガナイザー：成宮 周(京都大学・院・医)
石井 優(大阪大学・院・医)
- ・日本薬理学会・日本臨床薬理学会共催教育セミナー
第 89 回日本薬理学会年会時 平成 28 年 3 月 9 日, パシフィコ横浜・会議センター(神奈川県横浜市)
『科学研究における倫理の質を高める』
オーガナイザー：福永 浩司(東北大学・院・薬)
熊谷 雄治(北里大学病院)
- ・日本薬理学会・日本臨床薬理学会共催シンポジウム
第 37 回日本臨床薬理学会学術総会時 平成 28 年 12 月 2 日, 米子市コンベンションセンター(鳥取県米子市)
『進むオーファンドラッグ(希少疾患用医薬品)に対する創薬』
オーガナイザー：安藤 仁(金沢大学・院・医)
安西 尚彦(千葉大学・院・医)
- ・日本薬理学会・日本生理学会共催シンポジウム
第 89 回日本薬理学会年会時 平成 28 年 3 月 10 日, パシフィコ横浜・会議センター(神奈川県横浜市)
『光遺伝学や薬理遺伝学を用いた痛みの研究の最前線』
オーガナイザー：山中 章弘(名古屋大学・環境医学研)
成田 年(星薬科大学)
- ・日本薬理学会・日本毒性学会共催シンポジウム
第 89 回日本薬理学会年会時 平成 28 年 3 月 10 日, パシフィコ横浜・会議センター(神奈川県横浜市)
『ガス状分子と活性イオンによる病態制御機構の解明』
オーガナイザー：松本 明郎(千葉大学・院・医)
渡邊 泰男(昭和薬科大学)
熊谷 嘉人(筑波大学・医学医療系)

(5) 内外の関連学術団体との連携及び協力

- ・ASPET(米国薬理学会)とJPS(日本薬理学会)との講師交換プログラムを開始し、第89回年会にASPETからJeffrey Conn教授を招へいた。
- ・10月21日から23日までパリで開催されたIUPHAR Nomenclature Committee (NC-IUPHAR)の会合に金井 好克教授が出席した。
- ・IUPHAR Executive Committeeが11月30日から12月2日までオーストラリアのメルボルンで開催され、IUPHARの理事会に2nd Vice Presidentの飯野正光教授が出席し、WCP2018の準備状況について報告を行った。
- ・鳥取県の米子コンベンションセンターで開催された第37回日本臨床薬理学会学術総会期間中の12月3日に、2011年のウルムチ開催以来中断されていた日中薬理学・臨床薬理学ジョイントミーティング(第6回)が開催された。本会から松木 則夫理事が参加し、また安西尚彦国際対応委員会委員が本会を代表し、講演を行った。
- ・IUPHAR Education Project(発展途上国等の薬理学教育を推進する目的のプログラム)に賛同し、平成28年度を含む3年間の期限付きの財政的援助を行うことを決定した。平成28年度分として1万ドルを送金した。

2. 学会誌等刊行物の刊行(定款第4条第2号)

(1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

| 発行巻号 | 130巻1~4号, 131巻1~4号, 132巻1~4号 130巻Supplement (the 89th Annual Meeting) | 掲載頁数 | (篇数) |
|-----------------------|--|--------|-------|
| ① Review | | 36頁 | (5) |
| ② Full Paper | | 650頁 | (83) |
| ③ Short Communication | | 120頁 | (29) |
| ④ Letter, 他 | | 4頁 | (1) |
| | 小計 | 810頁 | (118) |
| ⑤ Vol.130 Supplement | | 294頁 | |
| | 合計 | 1,104頁 | (118) |

(2) 日本薬理学雑誌（くすりとかからだ／ファーマコロジー）の刊行

発行巻号（部数） 147巻 1～2号（各 4,100部）、147巻 3号（4,150部）、147巻 4号（3,250部）、
147巻 5号（3,500部）、147巻 6号（3,700部）
148巻 1号（3,650部）、148巻 2号（3,700部）、148巻 3号（3,750部）
148巻 4号（3,800部）、148巻 5号（3,850部）、148巻 6号（4,000部）

| | 掲載頁数 | （篇数） |
|-----------------|-------|-------|
| ① 特集序文 | 20 頁 | (20) |
| ② 特集および総説 | 425 頁 | (81) |
| ③ 実験技術 | 23 頁 | (4) |
| ④ 創薬シリーズ | 56 頁 | (9) |
| ⑤ 新薬紹介総説 | 91 頁 | (10) |
| ⑥ キーワード解説 | 12 頁 | (5) |
| ⑦ 最近の話題 | 12 頁 | (12) |
| ⑧ サイエンス/リレーエッセイ | 9 頁 | (9) |
| ⑨ 学会便り/研究室訪問 | 9 頁 | (9) |
| ⑩ アゴラ | 24 頁 | (12) |
| ⑪ 広告 | 109 頁 | |
| ⑫ 綴込み、目次等上記以外の頁 | 184 頁 | |
| 合計 | 974 頁 | (171) |

(3) 会員名簿の発行

所属別会員名簿 1冊

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第3号）

(1) 第9回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

森 泰生（京都大学大学院地球環境学堂及び工学研究科・教授）

第10回日本薬理学会江橋節郎賞決定

池谷 裕二（東京大学大学院薬学系研究科・教授）

(2) 第31回日本薬理学会学術奨励賞授賞（所属等の標記は授賞時）

青木 友浩（京都大学大学院医学研究科 次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点）
『トランスレーショナルリサーチとしての脳動脈瘤形成機序の薬理学的研究』

小坂田文隆（名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞薬効解析学）

『新規狂犬病ウイルストレーシング法による神経回路の構造・機能・再生の解明』

中野 大介（香川大学医学部 形態機能医学講座 薬理学）

『腎臓病進展における病態生理の解明と治療戦略の構築』

第32回日本薬理学会学術奨励賞決定（裏表紙）

(3) 第21回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定（掲載順）

Inhibition of Autophagy Enhances Sunitinib-Induced Cytotoxicity in Rat Pheochromocytoma PC12 cells
Tatsuhiko Ikeda, Kiyoko-aki Ishii, Yuria Saito, Masahiro Miura, Aoi Otagiri, Yasushi Kawakami,
Hitoshi Shimano, Hisato Hara, Kazuhiro Takekoshi
J Pharmacol. SCI. Vol. 121, No. 1 pp. 67-73 (2013)

Stimulation of Metabotropic Glutamate (mGlu) 2 Receptor and Blockade of mGlu1 Receptor Improve Social Memory
Impairment Elicited by MK-801 in Rats
Hirohiko Hikichi, Ayaka Kaku, Jun-ichi Karasawa, Shigeyuki Chaki
J Pharmacol. SCI. Vol. 122, No. 1 pp. 10-16 (2013)

(4) 第89回年会優秀発表賞（五十音順・11名）

今井 博貴（秋田大・医・情報制御）

児玉 昌美（東京医科歯科大・難治研・生体情報薬理）

大内 彩子（北里大・薬・薬理）

周 至文（東京大・院薬・薬品作用）

奥田 洗作（岡山大・院医歯薬・薬効解析）

續 啓史（九州大・医・病態修復内科）

梶 典幸（東京大・院農・獣医薬理）

松田 弘美（北里大・医・薬理）

神戸 悠輝（鹿児島大・医・生体情報薬理）

宮脇 昭光（大阪大・院薬・臨床薬効解析）

北島 奈美（東京大・院医・細胞分子薬理）

4. 薬理学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

(1) 会員動態の調査

会員動態の調査として、年会参加者の年齢・性別のアンケート調査を実施している。アンケートは今後も継続する。

(2) ホールアニマルを用いた実験法等の継承や教育を目的としたデータベース構築を目指し、大学等の施設における動物実験の実施状況を調査するためアンケートを実施した。

5. 内外の関連学術団体との連携及び協力（定款第4条第5号）

(1) 学術集会の共催および連携 上記1.の(4)、(5)を参照

(2) 学術集会の協賛・後援（平成28年年会から平成29年年会前まで）

協 賛

| | |
|--|------------|
| 1) 生命分子機能研究会セミナー2016 「生命分子・ペプチド科学に基づく創薬：医療への貢献」 | 平成28年3月18日 |
| 2) 第23回HAB研究機構学術年会 | 5月26～28日 |
| 3) 第43回日本毒性学会学術年会 | 6月29日～7月1日 |
| 4) 第20回活性アミンに関するワークショップ | 8月20日 |
| 5) CBI学会2016年大会 | 10月25～27日 |
| 6) 第26回日本循環薬理学会 | 12月2日 |

後 援

| | |
|---|----------------|
| 1) 第63回日本実験動物学会総会 | 平成28年5月18日～20日 |
| 2) 第11回日本分子イメージング学会総会・学術集会 | 5月28,29日 |
| 3) 日本ケミカルバイオロジー学会 第11回年会 (第68回日本細胞生物学会大会 合同大会) | 6月15～17日 |
| 4) 医療薬学フォーラム2016 第24回クリニカルファーマシーシンポジウム | 6月25,26日 |
| 5) 第46回日本神経精神薬理学会年会 | 7月2,3日 |
| 6) 第11回トランスポーター研究会年会 | 7月2,3日 |
| 7) 「新時代の循環器研究を考える」医工連携国際シンポジウム2016 | 7月11,12日 |
| 8) 第18回応用薬理シンポジウム | 8月5,6日 |
| 9) 第21回日本病態プロテアーゼ学会学術集会 | 8月5,6日 |
| 10) 第61回「脳の医学・生物学研究会」 | 8月20日 |
| 11) 創薬薬理フォーラム第24回シンポジウム | 9月28,29日 |
| 12) 第9回トランスポーター研究会九州部会 | 10月1日 |
| 13) 日本薬物動態学会第31回年会 | 10月13～15日 |
| 14) 第1回黒潮カンファレンス | 10月22,23日 |
| 15) 第2回ゼブラフィッシュ創薬研究会 | 11月4日 |
| 16) 第62回「脳の医学・生物学研究会」 | 平成29年2月11日 |
| 17) 第26回神経行動薬理若手研究者の集い | 3月14日 |

6. 会議等の開催状況（平成 28 年年会から平成 29 年年会前まで）

| | | | |
|---------------|--------------------------|-------------------|--------|
| 総 会 | 平成 28 年度通常総会 | 平成 28 年 3 月 9 日 | (横浜) |
| 学術評議員会 | 平成 28 年度 | 平成 28 年 3 月 9 日 | (横浜) |
| 理 事 会 | 平成 28 年度 第 4 回 | 平成 28 年 4 月 23 日 | (東京) |
| | 第 5 回 | 7 月 8 日 | (東京) |
| | 第 6 回 | 12 月 16 日 | (東京) |
| | 平成 29 年度 第 1 回 | 平成 29 年 2 月 23 日 | (書面決議) |
| | 第 2 回 | 3 月 14 日 | (長崎) |
| WCP2018 組織委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 3 月 9 日 | (横浜) |
| | 第 2 回 | 7 月 4 日 | (東京) |
| | 平成 29 年度 第 1 回 | 平成 29 年 1 月 30 日 | (東京) |
| 総務委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 持ち回り開催 | 平成 28 年 11 月 1 日 | (東京) |
| 財務委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 11 月 21 日 | (東京) |
| | 予算案検討ワーキング | 11 月 14 日 | (東京) |
| | 会 計 監 査 | 平成 29 年 1 月 17 日 | (東京) |
| | | 1 月 23 日, 25 日 | (東京) |
| | 監 事 監 査 | 平成 29 年 2 月 17 日 | (東京) |
| 編集委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 3 月 10 日 | (横浜) |
| | 第 2 回 | 6 月 29 日 | (大阪) |
| 研究推進委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 6 月 28 日 | (東京) |
| 広報委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 3 月 11 日 | (横浜) |
| | 第 2 回 | 6 月 29 日 | (東京) |
| 企画教育委員会 | 平成 28 年度 第 2 回 | 平成 28 年 6 月 27 日 | (東京) |
| | 平成 29 年度 第 1 回 | 平成 29 年 1 月 16 日 | (東京) |
| | 次世代の会 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 3 月 9 日 | (横浜) |
| 賞等選考委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 10 月 15 日 | (東京) |
| 年会学術企画委員会 | 平成 28 年度 第 2 回 | 平成 28 年 6 月 18 日 | (東京) |
| 江橋賞選考委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 10 月 28 日 | (東京) |
| 国際対応委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 9 月 2 日 | (東京) |
| 利益相反(COI)委員会 | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 11 月 1 日 | (東京) |
| 「事務局在り方」ワーキング | 平成 28 年度 第 1 回 | 平成 28 年 8 月 2 日 | (東京) |
| | 第 2 回 | 11 月 22 日 | (東京) |

7. 会員状況（平成 28 年 12 月 31 日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

| 代議員 (正会員を含む) | 名誉会員 | 永年会員 | 正会員 | | 総数 |
|-----------------|-------|------|----------|----------|----------|
| | | | 学術評議員 | 一般会員 | |
| 1 4 0 | 1 1 7 | 8 0 | 1, 2 9 0 | 3, 1 0 9 | 4, 5 9 6 |
| + 5 | + 8 | - 4 | - 3 8 | ± 0 | - 3 4 |

新入会者数：463 名，退会者数：497 名（逝去者，会費未納除籍者含む）

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。